

30年度全国中学生 人権作文コンテスト

東京都大会奨励賞

「やさしさの卵焼き」

池田 麻里子さん
(新宿西戸山中学校2年)

私は父方の祖母が作る甘い卵焼きが大好きで、帰省のたびにリュウエストする。母が作る塩味の卵焼きも好きだが、私はなぜか祖母の甘い卵焼きを食べると温かい気持ちになる。

ある朝、祖父の「おはんだよ」という声で起きられ、頭は目覚めないまま、体は台所へ向かった。「み光のもつれ今幸いこの浄き食をつく。頂きます。」機械的に箸を持ち動かしている。卵焼きを口にした瞬間一気に目が覚めた。「なんだこれは!!」

と、斜め前に座っている祖母が「おいしいかね」と笑顔で聞いてくる。お母も手でお口を押さえて、「モ」モ」カみながら「おいしい、おいしい」と嘘を連発した。しかし嘘をついた私の良心は痛んだ。これは祖母を尊重した嘘だろうか。祖母は砂糖と塩の配分がわからなくなってしまう上に、味覚や色彩までわからなくなってしまうようになった。

少し前から、物忘れが進行しているとは聞いていたが、とうとう認知症の要介護認定を受けたことだ。

私はこのとき以来、甘い卵焼きを作る練習をしている。次帰省するときに、甘くておいしい卵焼きを祖母に食べてほしいと思つたからだ。初めのうちはグチャグチャの失敗作ばかりだったが、兄に「味はおいしいから、形がきれいになればいい」と思つた「よ」と褒められ、猛練習し

た。毎晩、卓上には卵焼きが並んだが、兄は嫌という顔もせず食べ、必ず何かしらのコメントをくれた。

兄から言葉で励まされ、気がついた。そして、ふつふつと後悔の念が湧き出てきた。兄が私の卵焼きを褒めてくれるように、私も祖母の卵焼きの良いところを探して、嘘をつかずに褒めてあげればよかったのではないかと。私が「おいしい」と連発したとき、本当は祖母にバシバシかもしれないと思うとやるせない気持ちでいっぱいだった。私の嘘で祖母を傷つけてしまったのではないかと。あのときどうすれば良かったのだらう。

練習に時間をかけた分だけ、母と色々な話をした。「どうして甘い卵焼きを作らないの?」と尋ねたことがある。それは、子供の頃から塩味の卵焼きで育てられたからだ。

母は結婚するとき、今まで自分が食べてきた卵焼きと祖母の作る卵焼きの味が違うことに一抹の不安を感じた。しかし、祖母は育った環境や好みはそれぞれ違うのだからと、甘い卵焼きを強制しなかった。郷に入っては郷に従えの例外に、母は祖母の思いやりと心の広さを感じた。そして甘い卵焼きが食卓に出たら味わって食べた。

祖母の認知症の話もした。症状を遅らせる薬はあるが、日進月歩の医療でも、認知症の特効薬はない。ふと、正気に返った瞬間、指摘を受けた瞬間、嫌な思いをする。でもさくさく口を忘れるから、これまででも明るく、楽天的で子供のように純粋。毎日楽しく過ごすが、これが一番の薬だ。

祖母は辛い思いをしても忘れずからまだ良いが、側で面倒を見る祖父の「とを考える」と平静ではいられない。祖父は三六五日二四時間ずっと一人で祖母

の世話をしているのだ。それに、祖父は祖母が認知症になりかけた頃、曾祖母の介護もしていた。その期間を合わせると長い期間介護をしている。

私にも祖父のように介護できるだろうか。私だったら大変さのあまり、イライラしてしまう気がする。祖父は戦争を経験したせい、ものすごく我慢強い。ニュースでは夫婦心中や殺してしまつたケースが後絶たない。私にはいつまでも続く介護に疲れ、心中する気持ちが少しわかる気がする。一人で頑張っている祖父は本当にすごいと思う。ありがと、おじいちゃん。

しかし、この先状況が悪化する趣味の囲碁や絵画教室に通えないほど介護に手がかかる。今でさえ祖父の自由な時間は削られている。自由とは誰もが持っている権利で奪えない。心のゆとりがなくなってしまう。できることなら、その場だけ時間を止めたい。

高齢化が進む今、私も高齢者を支える側の一人になりつつある。つい要介護者に目が向いてしまつが、介護者の自由も確保する介護サービス、誰か一人だけが辛い思いをしない社会。祖父が祖母を介護施設に入れない、一緒に家で暮らしたいと思う気持ちを尊重したい。何か力になれることはないか考えてみた。

学生も認知症について学べる場が必要だ。また、日常の介護の愚痴を気軽に言える関係が身近で作れたらいいと思う。

これからは私が祖母に卵焼きを作つてあげられる。祖父には毎週電話して色々な話をしたい。電話の先には私たち家族がいて、いつでも繋がっていると安心してほしい。要介護者だけでなく介護者の人権も保障し、最期まで生き生きとした生活を送れる、温かい社会であつて欲しいと願う。

安全で快適な自転車通行空間を効果的に整備するための計画を策定します。

【意見をお寄せください】

【ご意見の提出先】問合せ12月14日(金)までに交通対策課交通企画係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎7階) ☎5273-4265 ☎(3209)5595へ、郵送(必着)・ファックスまたはお持ちください。新宿区ホームページからも受け付けます。ご意見には住所、氏名、年齢のほか、在勤・在学の方は勤務先または学校の名称を記入してください。(氏名等の個人情報は公表しません)。

【会場・問合せ】同センターへ。車でのご来場はご遠慮ください。

【日時】12月14日(金)午前10時~12時・午後1時30分~3時30分(2回とも同じ内容)

【内容】お正月を迎える寄せ植え作り(講師は星野学/テクノ・ホルティ園芸専門学校講師)

ご意見をお寄せください

自転車ネットワーク計画(素案)



【ご意見の提出先】問合せ12月14日(金)までに交通対策課交通企画係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎7階) ☎5273-4265 ☎(3209)5595へ、郵送(必着)・ファックスまたはお持ちください。新宿区ホームページからも受け付けます。ご意見には住所、氏名、年齢のほか、在勤・在学の方は勤務先または学校の名称を記入してください。(氏名等の個人情報は公表しません)。

省エネセミナー

【日時】11月20日(火)午後1時30分~4時

【対象】区内事業者、区内在住・在勤・在学の方、30名

【内容】講話「第五次エネルギー基本計画からひも解く」講師は浅井豊司/㈱フルハシ環境総合研究所所長

【会場・申込み】往復はがきかファックス・電子メール(3面記入例のとおり記入)で、11月19日(必着)までに同センター(〒160-0023 西新宿2-11-4、新宿中央公園内) ☎(33348)6277 ☎(3344)4434

4 info@shinjuku-ecocenter.jpへ。応募者多数の場合は抽選。

【衣類・和服】毛糸の分別回収(家庭で眠っている衣類(子ども服も可)・和服・毛糸を回収します。衣類と和服は分けてお持ちください。靴、かばん、虫食い、カビ等劣化しているものは引き取りできません)。

【日時】12月12日(水)午後1時~4時

【会場・問合せ】同センターへ。車でのご来場はご遠慮ください。

【日時】12月14日(金)午前10時~12時・午後1時30分~3時30分(2回とも同じ内容)

【内容】お正月を迎える寄せ植え作り(講師は星野学/テクノ・ホルティ園芸専門学校講師)

【費用】2千500円(家庭学習用の材料を追加する場合は3千500円)

【持ち物】筆記用具、園芸用手袋、エプロン、持ち帰りの袋

【会場・申込み】往復はがきに3面記入例のほか希望時間(午前・午後の別、第2希望も記入可)、材料追加希望の有無を記入し、11月30日(必着)までに同センターへ。各回定員20名。応募者多数の場合は抽選。

【日時】12月7日(金)午後1時~4時

【費用】100円(資料代)

【持ち物】木綿またはウール地の古布(70×80cmの正方形・直径32cmの円、各2枚)、ひも布(5cm×12cm)2枚、中布または中綿(70cmの正方形と直径30cmの円、各1枚)、裁縫道具一式

【日時】12月13日(木)午前10時30分~午後1時30分

【会場】エコ・ッキングスタジオ(西新宿3-7-13、東京ガス

方、実行力ある事業計画書の作成方法、実務経験者に聞く創業と経営革新の取り組み

【費用】4千円(4回分。資料代等) ……(以下共通) ……

【会場・申込み】①は11月17日(土)から、②は11月29日(木)までに電話かファックス・電子メール(3面記入例のほか現在の仕事内容を記入)で同センター(高田馬場1-32-10) ☎(3205)3031・☎(3205)1007・info@shinjuku-ecocenter.jpへ。①は先着順、②は応募者多数の場合は選考。

【日時】12月15日(土)午後1時30分~3時30分

【持ち物】はさみ、筆記用具

【日時】12月18日(火)午後1時~4時

【費用】150円(材料費等)

高田馬場創業支援センターの催し

①創業セミナー

【日時】12月1日(土)午後2時~5時

【対象】創業を予定している方、創業から5年未満の方、36名

【内容】創業時に知っておくべき3つの公的融資制度

【費用】500円(資料代等)

②創業スクール

【日時】12月2日、23日の日曜日午後3時~5時(2日目は午後2時30分から)、全4回

【対象】創業を目指している方、10名

【内容】創業に必要な知識や考え

②牛乳パック等で正月飾り作り

【日時】12月15日(土)午後1時30分~3時30分

【持ち物】はさみ、筆記用具

③古布で肩布団作り

【日時】12月18日(火)午後1時~4時

【費用】150円(材料費等)

【持ち物】厚地またはキルティングの古布(表布・裏布用、各90cm×100cm)、裁縫道具一式、筆記用具

……………(以下共通)……………

【対象】区内在住・在勤の方②は在学の方も可、15名

【共催】①③は新宿環境リサイクル活動の会

【会場・申込み】往復はがき(1枚に付き1講座)に3面記入例のとおり記入し、①③は11月27日まで、②は12月1日まで(いずれも必着)に同センター(〒169-0075 高田馬場4-10-2) ☎(5330)5374 (月曜日休館)

075 高田馬場4-10-2 ☎(5330)5374 (月曜日休館)

へ。応募者多数の場合は抽選。

④エコ・ッキング

生ごみを減らす工夫やエネルギー・水を上手に使う調理実習を通じて環境に配慮した調理を考えます。

【日時】12月13日(木)午前10時30分~午後1時30分

【会場】エコ・ッキングスタジオ(西新宿3-7-13、東京ガス

方、実行力ある事業計画書の作成方法、実務経験者に聞く創業と経営革新の取り組み

【費用】4千円(4回分。資料代等) ……(以下共通) ……

【会場・申込み】①は11月17日(土)から、②は11月29日(木)までに電話かファックス・電子メール(3面記入例のほか現在の仕事内容を記入)で同センター(高田馬場1-32-10) ☎(3205)3031・☎(3205)1007・info@shinjuku-ecocenter.jpへ。①は先着順、②は応募者多数の場合は選考。